

ミリ波ばく露時の温熱生理や細胞機能の 変化等に関する研究 に係る採択評価書

研究機関 : 北海道大学、久留米大学、愛知学院大学、香川大学

研究開発期間 : 令和3年度～令和6年度

代表研究責任者 : 日景 隆(北海道大学)

■ 実施可能性 : 適

■ 総合順位 : 第 1 位 / 提案者 1 名

(評価点 28.9 点 / 40 点中)

(総論)

- ミリ波ばく露による皮膚の温熱生理や細胞の動態の変化を明らかにすることは、Beyond5G/6Gにおける超高周波電波環境において重要な課題である。本研究課題の推進を期待したい。
- 60 GHz に的を絞った現実的な研究実施計画である。
- 年次目標が適切に設定されており、最終年度の目標達成に向けて計画性のある提案であり、採択は適と判断する。

(コメント)

- 動物実験とヒトばく露実験のプロトコルや目的を明確にし、適切なヒトばく露実験のための計画を立てていただきたい。
- 熱交換機能や生体保護機能など、皮膚の持つ恒常性維持機能への影響という観点で実験結果を整理し、電波防護指針や国際的なガイドラインの精緻化に資する研究、国受託として実施する意義のある研究として、成果の活用方策、社会的価値などを見据えた目標設定としていただきたい。
- 基本計画書にある、複数発射源等を想定した 60 GHz 帯電波の現実的なばく露条件として理解、納得が得られるような電波ばく露のパラメータと、そのロジックについて、研究の早い段階で改めてご説明いただきたい。

Beyond 5G/6G 等の多様化する新たな無線システムに 対応した電波ばく露評価技術に関する研究 に係る採択評価書

研究機関 : 情報通信研究機構

研究開発期間 : 令和3年度～令和7年度

代表研究責任者 : 長岡 智明

■ 実施可能性 : 適

■ 総合順位 : 第 1 位 / 提案者 1 名

(評価点 31.4 点 / 40 点中)

(総論)

- Beyond5G/6G を見据えた基本計画書の趣旨に合った研究計画が提案されており、到達目標は明確で実現できるものと期待できる。大いに推進すべき研究課題である。
- 新たな無線システムに対応した電波ばく露評価技術に関する研究目的が設定されているとともに、目標達成が期待できる提案で、採択は適と判断する。

(コメント)

- 電波の安全性評価技術に関する委託研究実績として人体ばく露評価および電波防護指針の適合性方法の評価に関する研究について、十分な実績を有しているため、研究を推進できると判断する。
- 研究の進展に伴って計画の変更が必要になる可能性があるため、適宜修正して進めたい。
- テラヘルツ帯までの電波に対するばく露評価技術研究における海外でのデータ公表については、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づき、適正に対応いただきたい。